



萌木 6月号



調布市立第七中学校
校長 山田 勝
令和3年6月3日発行

～自尊・立志・感動～

一走懸命 ～仲間と共に走り出せ～

年度当初は22日土曜日に予定していた新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、21日金曜日に変更していた体育祭ですが、荒天によるグラウンドコンディション不良のため再変更で5月24日月曜日に、無事実施することができました。

「一走懸命～仲間と共に走り出せ～」

今年度の体育祭は、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言が発出され開催が確実とは言えない中、体育祭実行委員会を4月に組織することから始まりました。その実行委員会で考えてくれたスローガンが「一走懸命～仲間と共に走り出せ～」です。1年を通して大きな行事の一つである体育祭を一生懸命走り抜き、明るく協力し合えるクラスというゴールテープを切ってほしいという願いを込め、実行委員会で「一生懸命」と「走る」をかけて作ってくれました。

このスローガンのもと、各クラスが、また生徒一人一人がそれぞれの思いと目標を胸に体育祭に臨んでくれました。

運動が得意ではなく仲間の足を引っ張りたくないかと不安を抱えている人、仲間と一緒に頑張れるか自信がない人、また、仲間を勇気づけ団結して体育祭に臨みたいと思っている人。

2週間の練習開始当初は、そのような温度差を、練習を見ていて感じたりもしましたが、開会式での顔を上げてしっかり話を聞いている姿からは、仲間とともに頑張ろうという熱を感じる事ができました。

全員リレーでは、前の走者を追い抜く際に、接触して転んだ相手を戻って気遣う様子も見られました。勝ち負け以上のすがすがしい心根を感じました。大縄跳びも感染対策のため各クラス半分ずつで競技しましたが、跳ばないグループが間近で応援をするため、競技者と応援者を越えクラスがより一つにまとまっていくように思いました。学年種目では、それぞれの競技の公平さを担保することに真剣に向き合う姿を頼もしく感じました。

閉会式では午前中の競技を観戦しての感想を伝えました。3年生には仲間を大切に目的意識をしっかり持って参加できていたこと、2年生にはクラスでまとまり思いやりの気持ちを持って参加できたこと、1年生は中学校でのこれからの活動での自分達の課題を見つけましょう、という話をしました。

中学校生活に慣れ七中生として頑張る意欲を持っている1年生と、確実に成長している2、3年生の姿を確認することができた体育祭でした。

昨年度に続き非公開での開催となり、保護者の皆様には観戦をご遠慮いただくなどご協力をいただきありがとうございました。ご不便をおかけしましたが感染症対策をとることでリスクを減らし生徒一人一人の大きな成長につながった体育祭を実施できました。これからの行事につきましても例年とは違う協力をお願いを差し上げることになると思いますが、生徒の成長のために、学校でできること、保護者の皆様にご協力いただくことを考え取り組んでまいります。よろしくお祈りいたします。

